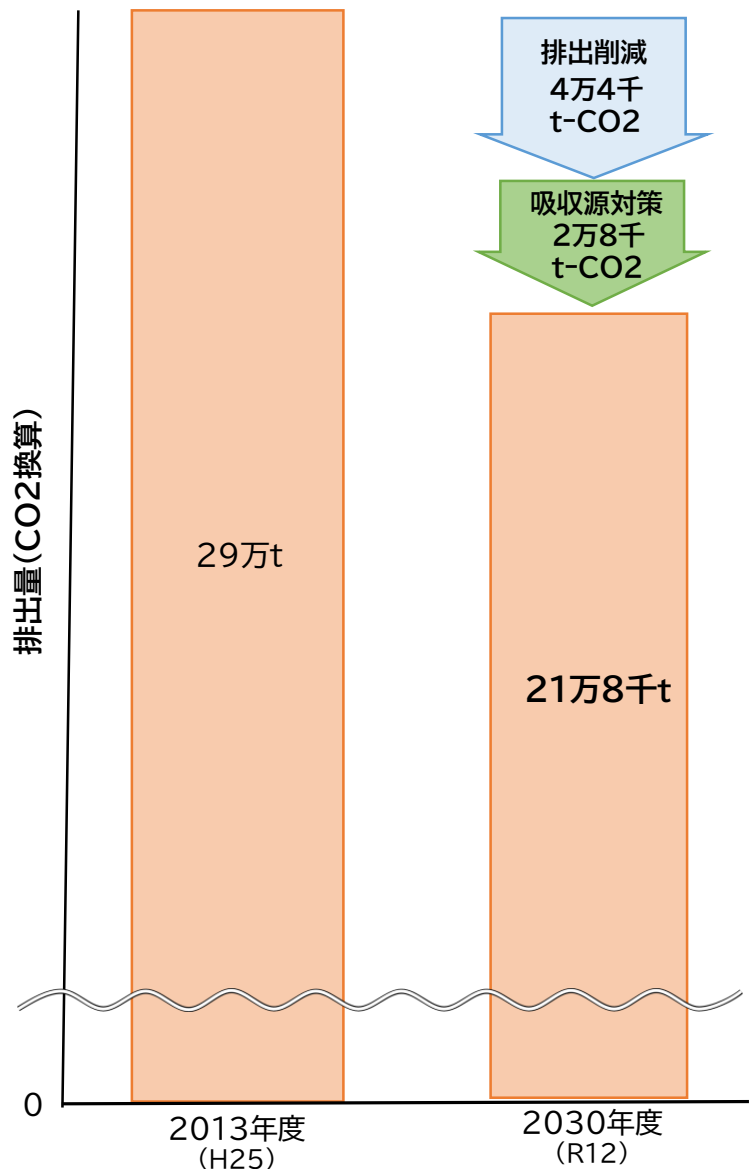


農業・水産業分野におけるCO₂排出に係る収支について

滋賀県の農業・水産業分野においては、2013年度には29万t(CO₂換算:総合エネルギー統計等より算出)の排出量があり、2030年度に向けて4.4万t(CO₂換算)の排出削減対策と併せて、2.8万t(CO₂換算)の吸収源対策の推進を行い、2013年度比で25%CO₂削減することを目標としています。



主な排出削減対策

農業分野



長期中干しの推進

- 長期中干しの推進
2万4千t-CO₂削減
(取組面積: R12 18,000ha)
- 秋耕の推進
1万4千t-CO₂削減
(取組面積: R12 2,000ha)

畜産分野



アミノ酸バランス飼料の給餌

- 温室効果ガスの排出が少ない飼養管理技術の推進
1.6千t-CO₂削減

水産分野



- 航行速度の1割低減による燃油消費量削減とCO₂排出抑制
0.3千t-CO₂削減

総合的な取組



長大法面等を活用した太陽光発電

- 農村地域における再生可能エネルギーの導入
1.3千t-CO₂削減
- 地産地消の推進
0.7千t-CO₂削減

吸収源対策

土壌中への炭素貯留(CO₂吸収)の取組



ペレット堆肥の散布

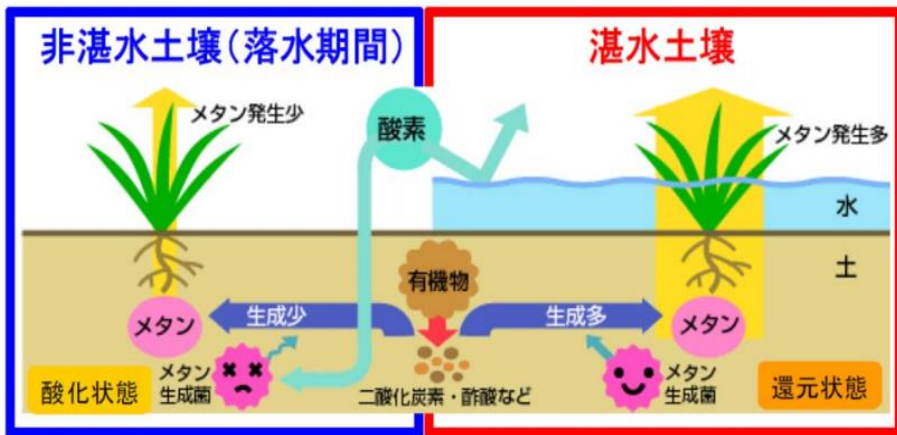


ペレット堆肥

- たい肥施用の推進
2万5千t-CO₂削減 (取組面積: R12 11,000ha)
- カバークロップの推進
1.8千t-CO₂削減 (取組面積: R12 1,000ha)
- オーガニック農業の推進
0.9千t-CO₂削減 (取組面積: R12 1,000ha)

【参考】CO₂排出削減対策(長期中干し)と吸収源対策(土壌中への炭素貯留)について

排出削減対策(長期中干し)

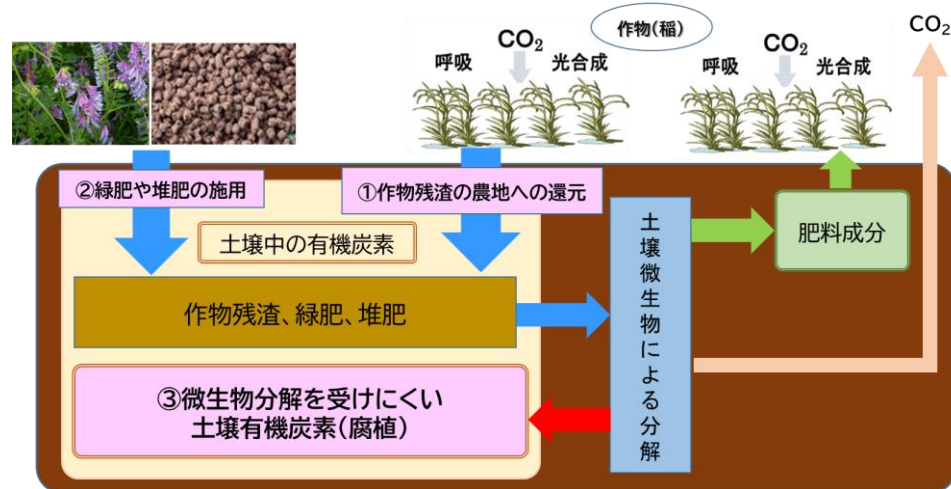


国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(旧(独)農業環境技術研究所)
水田メタン発生抑制のための新たな水管理マニュアルより

- 長期中干し(14日以上)により、メタン発生量を約3割減少できる。

※ 中干しとは、過剰な分けつ抑制や根への酸素供給のため、茎が十分な数に達した時点で水田の水を抜くこと。通常、7~10日程度行われる。

吸収源対策(土壌中への炭素貯留)



農林水産省地球温暖化対策計画を改変

- ①②の量を増加させると、③の土壌への炭素貯留量が増加する。